



六郷中だより

六郷中学校だより 第11号

令和 3年10月14日

発行・文責：校長 深澤裕治

<六中HP>



全国学力・学習状況調査の結果と今後の対策

昨年度は、全国一斉臨時休校のため、実施されなかった「全国学力・学習状況調査」が、今年度は全国の小中学校で実施されました。このたび、本校の調査結果の概要がまとまりましたので、今後の対策と併せてご報告いたします。今後は、明らかになった教科の課題や生活状況の実態などを踏まえ、今後の学習指導や生徒指導の改善につなげていきたいと考えております。

1. 調査の目的

全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、その成果と課題を明らかにするとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

2. 実施生徒

国・公・私立学校の中学校3年生の全生徒（9,680校、932,995人）

3. 実施日

5月27日（木）

4. 調査内容

①教科に関する調査（国語・数学の2教科の学力調査）

- ・各教科において、身につけておくべき内容や実生活において活用できることが望ましい知識、技能
- ・知識、技能を実生活に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価、改善する力

②質問紙調査（学習状況調査）

- ・学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面に関する質問

5. 本校の教科に関する調査（学力調査）結果の概要と今後の対策について

①教科に関する調査の平均正答率（全国平均〔公立〕との比較）

- ・本校の教科ごとの平均正答率は、「国語・数学ともに全国平均と同等の結果」でした。

②各教科の分析と今後の対策

【国語】

- ・全体で14問の問題があり、それぞれの問題を国語の学習指導要領の4つの領域「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」に分類し、正答率を比較したとき、いずれの領域においても、概ね全国平均と同等の正答率となりました。
- ・さらに、問題ごとの出題の趣旨で分析すると、「書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係に注意して書く」「文脈中における語句の意味を理解する」に関する問題においては、全国平均をかなり上回る正答率となりました。
- ・一方、出題の趣旨「伝えたい事柄が相手に効果的に伝わるように書く」「登場人物の言動の意味を考え、内容を理解する」においては、全国平均をかなり下回っていました。
- ・今後の指導においては、「読み手の立場に立ち、自分が書いた文章について捉え直し、分かりやすい文章に整える力を身につけさせるために、目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめさせる指導」「文章を読んで考えたことなどを記録したり、伝え合ったりする言語活動の指導」について、より充実したものとなるよう指導を工夫していきます。

【数学】

- ・全体で16問の問題があり、それぞれの問題を数学の学習指導要領の4つの領域「数と式」「図形」「関数」「資料の活用」に分類して、正答率を比較すると、数学も同様にいずれの領域においても概ね全国平均と同等の正答率となりました。
- ・さらに、問題ごとの出題の趣旨で分析すると、「関数の意味を理解している」「平行四辺形になるための条件を用いて、四角形が平行四辺形になることの原因を説明することができる」に関する問題においては、全国平均をやや上回る正答率となりました。

（裏面に続きます）

- 一方、出題の趣旨「具体的な場面で、一元一次方程式を作ることができる」「相対度数の必要性と意味を理解している」においては、全国平均をやや下回っていました。
- 今後の指導においては、「数の性質について成り立つ事柄の特徴を数学的に説明することができるようにするために、文字を用いて表した計算結果を事象と関連付けて読み取る活動を充実すること」「相対度数の必要性や意味を理解するために、大きさの異なる2つ以上の集団のデータについて、その傾向を比較する活動を充実すること」について、より充実した指導にむけて工夫していきます。

6. 質問紙調査（学習状況調査）から明らかになった本校生徒の傾向について

①ほとんどの生徒（8割以上）が「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した質問

- 朝食を毎日食べている
- 毎日、同じくらいの時刻に寝ている
- 毎日、同じくらいの時刻に起きている
- 自分にはよいところがあると思う
- 将来の夢や目標を持っている
- 自分でやると決めたことは、やり遂げようとしている
- 人が困っているときは、進んで助けている
- いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う
- 人の役に立つ人間になりたいと思う
- 学校に行くのは楽しいと思う
- 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う
- 友達と協力するのは楽しいと思う
- 学習の中でコンピュータなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思う
- 2年生のときに受けた授業では、課題に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた
- 2年生のときに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間になっていた
- 友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができている
- 学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている
- 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる
- あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている
- 国語の勉強は大切だと思う
- 国語の授業の内容はよくわかる
- 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う
- 国語の授業では、言葉の特徴や使い方についての知識を理解したり使ったりしている
- 国語の授業では、目的に応じて、自分の考えが伝わるように根拠を明確にして書いたり、表現を工夫して書いたりしている
- 国語の授業では、目的に応じて文章を読み、内容を解釈して自分の考えを広げたり深めたりしている
- 数学の問題の解き方が分からないときには、あきらめずにいろいろな方法を考えている
- 数学の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしている
- 数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている
- 2年生のときに受けた英語の授業では、英語で話したり書いたりして、自分自身の考えや気持ちを伝え合うことができている

②全国の結果に比べて、改善が求められる項目

- 学校の授業時間以外の学習時間（家庭学習等）が、平日、休日とも短い傾向にある
- 新聞をほとんど、または全く読まない生徒が、9割以上である

7. まとめ（今後に向けて）

教科に関する調査（国語・数学）については、いずれの教科も全国平均に比べ同等の結果となりました。質問紙調査（学習状況調査）においても、多くの生徒が自己肯定感を持って学校生活を過ごしていることが分かりました。

今後は、本校の課題である「学校の授業時間以外の学習」に向けて、生徒が考えたくなり、取り組みたくなる言葉の投げかけとしての「発問」を工夫した授業づくりを目指すとともに、今年度、内容を改訂した「家庭学習の手引き」を活用しながら、生徒一人ひとりの家庭学習の意識や意欲をさらに高めていき、日々、生徒が家庭学習結果を記入し、提出している「学びノート」を用いて、日常の家庭学習の内容や方法を適切に評価することで、課題解決を行っていきたいと考えております。

今後とも、本校の教育活動にご理解とご協力をお願いいたします。